



カリフォルニアの風

サンフランシスコ日本語補習校 平成31年4月号

平成31年度スタート！そして、令和へ

平成31年度の入学式が4月6日、サンフランシスコ幼小部・中高部、サンノゼ幼小部・中高部の4校それぞれで開催されました。新緑がまぶしく澄みきった空気の中で、新入生は、在校生の温かいまなざしに見守られながら、緊張感のある堂々とした態度で式に臨みました。

本年度の入学生は、S F校は、幼稚部40名・小学部86名・中学部43名・高等部25名で、S J校は、幼稚部59名・小学部96名・中学部96名・高等部51名でした。新年度、新たに仲間になった児童生徒を加え、本年度サンフランシスコ日本語補習校は、S F校幼小部540名・中高部173名、S J校幼小部706名・中高部301名の計1720名でスタートしました。

また、平成30年度末の人事異動で、幼小部両校で退職者が6名、採用が9名ありました。中高部では、3名が退職し、2名が採用で4名の異動がありました。

さらに、文部科学省からの派遣で、校長・土屋和也、教頭・岸信男の2名が着任しました。

(この2名の紹介は理事会通信「やまなみ」でさせていただきます。)



幼小部サンノゼ校（入学式）



幼小部サンフランシスコ校（学校探検）

カリフォルニアの鮮やかな緑が目飛び込んで来る毎日です。もうすぐ5月2日は八十八夜です。新茶の頃の風景は、緑が鮮やかで茶事の薄茶の色のような、すがすがしさを感じます。

茶事で炭を使って釜を温める炭手前では、炭のつぎ方が大切なんだそうです。炭同士をどのくらい寄せるかで、火の勢いや燃える時間が変わってきます。大切なのは、「炭は燃やすのではなく、火がわたるように意識して置く事」だそうです。

今年度のサンフランシスコ日本語補習校の教育目標は、「確かな力を身につけ、国際社会に活躍する幼児・児童・生徒の育成」です。4つの学校がそれぞれの目標をもって学習がスタートしました。友だち同士や子どもと先生の、みんなの学ぶ思いがわたり、日本語に十分に浸ることができる学びの場になるように、一日一日の授業を大切にしていきたいと思えます。そして、平成から令和に年号が変わる今を、日本の外から見つめる視点をもって、時代が大きく変化していく様子を感じて欲しいと思えます。